

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C204	サンプルメイキングⅡ	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
古城 明子		演習		
講義目的				
ジャケットやコートの縫製を学ぶことで厚みの展開方法やシルエットを意識したアイロンテクニック方法、副資材の意味などを理解し応用力を養う。				
授業内容				
薄物素材や別珍、カットソー素材などの縫製技術の習得。 ポケット、衿付け始末方法、副資材の使い方を学び、作品制作までを行う。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	薄物部分縫い	2	薄物の縫製 縫製仕様5種類接ぎ合せ	
2	薄物ブラウス部分縫い	2	衿付け パイピングと裏バイヤス始末	
3	テーラードカラー付きベスト	2	伸び止めテープの貼り方 ダーツ割り始末	
4	テーラードカラー付きベスト	2	両玉縁ポケット	
5	テーラードカラー付きベスト	2	身頃組み立て	
6	テーラードカラー付きベスト	2	衿付け	
7	テーラードカラー付きベスト	2	どんでん始末	
8	サマーショー作品	2	縫製①②	
9	サマーショー作品	2	縫製③④	
10	サマーショー作品	2	縫製⑤⑥	
11	サマーショー作品	2	縫製⑦⑧	
12	サマーショー作品	2	縫製⑨⑩	
13	Tシャツ	2	裁断の仕方 2本針裏飾りミシンの使い方	
14	ラグランコート	2	伸び止めテープの貼り方 身頃組み立て	
15	ラグランコート	2	裏地組み立て ロックミシン	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
いろいろな素材の縫製技術を習得。ベスト、コート、ジャケットを作りあげることができる	講義 課題作成	部分縫い、完成作品の提出を以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C204	サンプルメイキングⅡ	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
古城 明子		演習		
講義目的				
ジャケットやコートの縫製を学ぶことで厚みの展開方法やシルエットを意識したアイロンテクニック方法、副資材の意味などを理解し応用力を養う。				
授業内容				
薄物素材や別珍、カットソー素材などの縫製技術の習得。 ポケット、衿付け始末方法、副資材の使い方を学び、作品制作までを行う。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	ラグランコート	2	箱ポケット付け	
2	ラグランコート	2	身頃組み立て	
3	ラグランコート	2	衿付け 中とじ	
4	ラグランコート	2	袖口縫い合わせ	
5	ラグランコート	2	ベンツ	
6	ラグランコート	2	肩パット付け ふらし始末	
7	テーラードジャケット	2	伸び止めテープ貼り 身頃組み立て	
8	テーラードジャケット	2	肩増し芯付け	
9	テーラードジャケット	2	フラップ付き片玉縁ポケット	
10	テーラードジャケット	2	身頃組み立て	
11	テーラードジャケット	2	衿付け 中とじ	
12	テーラードジャケット	2	袖作り	
13	テーラードジャケット	2	袖付け ゆき綿付け	
14	テーラードジャケット	2	肩パット付け どんでん始末	
15	デザインジャケット	2	縫製①②③④⑤	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
いろいろな素材の縫製技術を習得。ベスト、コート、ジャケットを作りあげることができる	講義 課題作成	部分縫い、完成作品の提出を以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C205	立体裁断Ⅱ	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
濱崎 幸子		演習		
講義目的				
身体（立体）の構造を理解しダーツの適切な分量を知る 地の目の必要性を学ぶ				
授業内容				
ボディ（人体）とトワル（地直しされたシーティング）を使い 立体構造を確認しながら アイテムをドレーピングによって製作し、平面パターンとして落とし込む				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	ストレートスカート①（ダーツとは？）	1年目で学んだドレーピングの復習		
2	ストレートスカート②ドレーピングチェック	ダーツの長さや分量の意味を理解する		
3	Aラインスカート①（ダーツの処理方法①）	2本ダーツのストレートスカートからの展開を学ぶ		
4	Aラインスカート②	1本をフレア一分として裾に展開する方法を学ぶ		
5	Aラインスカート③ドレーピングチェック	ベルトパターンを理解する		
6	Aラインスカート④トレース	平面製図に落とし込む		
7	デザインスカート①（ダーツの処理方法②）	デザイン線を使ってダーツを処理する方法を学ぶ		
8	デザインスカート②	地の目を理解する		
9	デザインスカート③	トワルの扱いを学ぶ		
10	デザインスカート④ドレーピングチェック	トワルの扱いを学ぶ		
11	デザインスカート⑤トレース	平面製図に落とし込む		
12	デザインスカート⑥トレース	記号や合印を理解する		
13	基本のブラウス①（サイドダーツ、オープンカラー）	バストでのゆとりの取り方		
14	基本のブラウス②	バストダーツの考え方（シルエットの作り方を学ぶ）		
15	基本のブラウス③	衿のドレーピング方法を学ぶ		
16	基本のブラウス④	ピンニングを学ぶ		
17	基本のブラウス⑤	適切なマーキング（印付け）を理解する		
18	基本のブラウス⑥	組み立てたものの平面での修正を学ぶ		
19	基本のブラウス⑦	組み立てたものの平面での修正を学ぶ		
20	基本のブラウス⑧	組み立てたものの平面での修正を学ぶ		
21	基本のブラウス⑨袖を組み立てる	袖は平面製図、イセを理解する		
22	基本のブラウス⑩ドレーピングチェック	袖は平面製図、イセを理解する		
23	基本のブラウス⑪トレース	トレースしたものを平面製図に落とし込む		
24	基本のブラウス⑫トレース	トレースのチェック方法を学ぶ		
25	4面体テーラードジャケットのドレーピング①	肩パットの設置やボディテープなどの使用方法を学ぶ		
26	4面体テーラードジャケットのドレーピング②	ジャケットのゆとりと構造を理解する		
27	4面体テーラードジャケットのドレーピング③	シルエットを作る手順を学ぶ		
28	4面体テーラードジャケットのドレーピング④	各パーツの地の目の大切さを理解する		
29	4面体テーラードジャケットのドレーピング⑤	衿の構造、パターンとのリンクを学ぶ		
30	4面体テーラードジャケットのドレーピング⑥	ポケットやボタンなどのバランスを見る目を養う		
留意事項（履修条件他）				

教材		
文化服装学院編「立体裁断・基礎編」(文化服装学院)		
最終到達目標	学習法	評価方法
平面製図とドレーピングのリンクができる(ドレーピングで制作したものを平面製図として落とし込める力を付け)ものを見る目を養う	立体構造に対する講義内容を踏まえて実技を行う	実技点および提出課題によって評価

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C205	立体裁断Ⅱ	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
濱崎 幸子		演習		
講義目的				
身体(立体)の構造を理解しダーツの適切な分量を知る地の目の必要性を学ぶ				
授業内容				
ボディー(人体)とトワル(地直しされたシーチング)を使い立体構造を確認しながらアイテムをドレーピングによって製作し、平面パターンとして落とし込む				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	4面体ジャケット	2枚袖製図・トレース		
2	4面体ジャケット	2枚袖製図・トレース		
3	4面体ジャケット	ドレーピングチェック		
4	4面体ジャケット	ドレーピングチェック		
5	4面体ジャケット	完成パターンチェック		
6	4面体ジャケット	完成パターンチェック		
7	プリンセスラインジャケット	身頃ドレーピング		
8	プリンセスラインジャケット	身頃ドレーピング		
9	プリンセスラインジャケット	衿ドレーピング		
10	プリンセスラインジャケット	衿ドレーピング		
11	プリンセスラインジャケット	袖ドレーピング		
12	プリンセスラインジャケット	袖ドレーピング		
13	プリンセスラインジャケット	ドレーピングチェック		
14	プリンセスラインジャケット	ドレーピングチェック		
15	プリンセスラインジャケット	完成パターンチェック		
16	プリンセスラインジャケット	完成パターンチェック		
17	テスト(4面体ベスト150分)	テスト・残り30分で次回のデザイン出し		
18	テスト(4面体ベスト150分)	テスト・残り30分で次回のデザイン出し		

19	修了作品(デザインワンピース)	各自コレクション雑誌からデザインのセレクト
20	修了作品(デザインワンピース)	各自コレクション雑誌からデザインのセレクト
21	修了作品(デザインワンピース)	各自コレクション雑誌からデザインのセレクト
22	修了作品(デザインワンピース)	各自コレクション雑誌からデザインのセレクト
23	修了作品(デザインワンピース)	(袖なし・衿なし)
24	修了作品(デザインワンピース)	(袖なし・衿なし)
25	修了作品(デザインワンピース)	ドレーピングチェック
26	修了作品(デザインワンピース)	ドレーピングチェック
27	修了作品(デザインワンピース)	完成パターンチェック
28	修了作品(デザインワンピース)	完成パターンチェック
29	修了作品(デザインワンピース)	完成パターンチェック
30	修了作品(デザインワンピース)	完成パターンチェック

留意事項(履修条件他)

教材

文化服装学院編「立体的断・基礎編」(文化服装学院)

最終到達目標	学習法	評価方法
平面製図とドレーピングのリンクができる(ドレーピングで制作したものを平面製図として落とし込める力を付け)ものを見る目を養う	立体構造に対する講義内容を踏まえて実技を行う	実技点および提出課題によって評価

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C207	アパレル素材知識Ⅱ	2年/前期	1	必修
担当教員		科目区分		
栗原 なおみ		講義		
講義目的				
素材の成り立ちや特性を理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。				
授業内容				
素材知識Ⅰで習得した基礎知識から、素材の染色や加工、柄等の応用編となる。工場見学を組み込み、実際の工程を体験することでより興味を深める。皮革、レースなどの特殊素材もサンプルを触り実感しながら履修。マップは、基礎の作業からトレンドに沿った感性のマップへ移行。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	染色	先染		
2	染色	後染		
3	染色	プリント		
4	染色・課題	提出課題① 染色マップ		
5	染色・課題	提出課題① 染色マップ		
6	染色・テスト	染色について		
7	加工	整理仕上げ加工		
8	加工	特殊な性能を与える加工		
9	加工	外観・風合いを変える加工		
10	加工・課題	提出課題② 加工マップ		
11	加工・課題	提出課題② 加工マップ		
12	柄	柄分類・プリント柄の分類		
13	柄	その他の柄		
14	柄・テスト	加工・柄について		
15	復習	復習		
留意事項（履修条件他）				
コレクションや市場で素材トレンドを意識する習慣付ける。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」（文化服装学院） 成田典子編「テキスタイル用語辞典」（テキスタイル・ツリー） 関間正雄編「テキスタイルハンドブック」（文化服装学院）				
最終到達目標	学習法		評価方法	
素材特性の理解と、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明、手入れが出来る。	講義 課題制作		提出課題、テストを以て総合的に評価する	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C207	アパレル素材知識Ⅱ	2年/後期	1	必修
担当教員		科目区分		
栗原 なおみ		講義		
講義目的				
素材の成り立ちや特性を理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。				
授業内容				
素材知識Ⅰで習得した基礎知識から、素材の染色や加工、柄等の応用編となる。工場見学を組み込み、実際の工程を体験することでより興味を深める。皮革、レースなどの特殊素材もサンプルを触り実感しながら履修。マップは、基礎の作業からトレンドに沿った感性のマップへ移行。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	工場見学	毛織物工場にて、紡績～染色加工工程を見学		
2	その他の素材【レース】	レースの分類と特徴		
3	その他の素材【天然皮革】	天然皮革の基礎知識 分類と特徴		
4	その他の素材【人造皮革】	人造皮革の基礎知識 分類と特徴		
5	その他の素材【毛皮・羽毛】	毛皮・羽毛の基礎知識 分類と特徴		
6	その他の素材【アクセサリ・副資材】	アクセサリ素材、副資材 分類と特徴		
7	素材の感性	素材の感性を表す専門用語		
8	素材の感性・課題	提出課題③ 素材の感性 プリント		
9	素材の感性・課題	提出課題③ 素材の感性 プリント		
10	素材のトレンド分析	コレクションからのトレンド分析		
11	素材のトレンド分析・課題	提出課題④ トrend分析マップ		
12	素材のトレンド分析・課題	提出課題④ トrend分析マップ		
13	素材のトレンド分析・プレゼンテーション	プレゼンテーションと評価		
14	総復習	1年次からの復習		
15	総復習ドリル・課題	提出課題⑤ 素材知識ドリル		
留意事項（履修条件他）				
コレクションや市場で素材トレンドを意識する習慣付ける。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」（文化服装学院） 成田典子編「テキスタイル用語辞典」（テキスタイル・ツリー） 閨間正雄編「テキスタイルハンドブック」（文化服装学院）				
最終到達目標	学習法		評価方法	
素材特性の理解と、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明、手入れが出来る。	講義 課題作成		提出課題、テストを以て総合的に評価する	

授業コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C218	ビジネスコミュニケーション I	2年/後期	1	必修
担当教員		科目区分		
齊藤 佳孝		講義		
講義目的				
ファッションビジネスの現場において求められる社会人基礎能力を身につけるための講義・実践を通して理解、習得する。				
授業内容				
まず、初めに一般的な職種とアパレル技術職で求められる就職活動の相違点を説明。各種書類につながる自己分析を通して各自のアピールポイントや職業観を確立する。また、業界で活躍する先輩社員から実際の仕事内容についての話を聞き、将来自分が働くイメージを醸成し、翌年スタートする就職活動に向けて準備していく。				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	就職ガイダンス	就職活動の進め方についての説明		
2	自己分析	振り返りシート・強みの作成		
3	コミュニケーションワーク	グループディスカッション		
4	コミュニケーションワーク	グループディスカッション		
5	書類作成	職業観作成		
6	業界研究	現在のアパレル業界についての講義		
7	業界研究	技術職の仕事についての講義		
8	業界研究	技術職の仕事についての講義		
9	情報収集	先輩とのディスカッション		
10	情報収集	第一印象の重要性についての講義		
11	企業分析	求人企業の傾向について		
12	面接について	面接のポイント説明と実践		
13	書類を作成する上でのポイント	履歴書について		
14	書類を作成する上でのポイント	エントリーシートについて		
15	まとめ	半年間の活動をまとめ就職活動のスタートに備える		
留意事項(履修条件他)				
教材				
最終到達目標		学習法	評価方法	
就職活動に必要な書類作成のための自己分析。 業界情報や先輩社員からの情報を受け職業観の確立。 履歴書やエントリーシートなどの基本的な書類が作成できる。		講義・グループワーク	定期課題(100%)	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C214	クリエイティブデザイン I	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
杉山 晶		演習		
講義目的				
アートの観点でクリエイティブなアートデザインのリサーチと発想方法を学び作品制作をする。				
授業内容				
既存のデザイナーのデザイン発想方法の研究。 様々な観点からリサーチし組み合わせて新しいクリエイティブなデザインを出し、ファッションコンテストに挑戦をする。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	クリエイティブデザインとは	2	リサーチの方法と発想デザインの手法説明	
2	クリエイティブデザイン 1	2	コンテストマーケティングの手法	
3	クリエイティブデザイン 2	2	デザイナー&ブランド研究 1	
4	クリエイティブデザイン 3	2	デザイナーのアイデア探求	
5	クリエイティブデザイン 4	2	ブレインストーミングにてアイデアの抽出	
6	クリエイティブデザイン 5	2	立体構成研究の題材決定とリサーチ	
7	クリエイティブデザイン 6	2	インスピレーションミュージズの選定	
8	クリエイティブデザイン 7	2	ミュージズとリサーチした題材の融合研究	
9	クリエイティブデザイン 8	2	シルエット研究	
10	クリエイティブデザイン 9	2	アートリサーチ	
11	クリエイティブデザイン 10	2	アート作品からの立体構成と落とし込み	
12	クリエイティブデザイン 11	2	テクニクリサーチ	
13	クリエイティブデザイン 12	2	テクニクリサーチの落とし込み手法	
14	クリエイティブデザイン 13	2	コンテスト用スタイリング	
15	クリエイティブデザイン 14	2	スタイリング研究	
留意事項（履修条件他）				
自分自身の発想に必要なアイデアをたくさんの事柄からセレクトしデザインへと落とし込み、コレクションとして様々なデザイン展開をする。				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
様々なアイデアを1つのデザインへミックスさせて自分自身の独自のデザインを生み出す。	リサーチの重要性を学び、デザインへ落とし込む。ドローイングを重ねて自らデザインできる力を自然に身につける。	A~E 評価 ※E は不認定となる 作品の提出を以て総合的に評価する 出席重視		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C214	クリエイティブデザイン I	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
杉山 晶		演習		
講義目的				
アートの観点でクリエイティブなアートデザインのリサーチと発想方法を学び作品制作をする。				
授業内容				
既存のデザイナーのデザイン発想方法の研究。 様々な観点からリサーチし組み合わせる新しいクリエイティブなデザインを出し、ファッションコンテストに挑戦をする。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	クリエイティブデザイン 15	4	立体構成を考案しながらのデザイン研究	
2	コンテスト研究	2	様々なコンテストのディスカッション	
3	アートアクセサリプロジェクト	2	アクセサリマーケティング 1 百貨店、ファッションビルアクセサリ売り場リサーチ	
4	アートアクセサリプロジェクト	2	アクセサリマーケティング 2 アートアクセサリのリサーチ	
5	アートアクセサリプロジェクト	2	アクセサリマーケティング 3 今求められているアクセサリとは？	
6	アートアクセサリプロジェクト	2	トレンド分析	
7	アートアクセサリプロジェクト	2	クラスとしてのテーマ決定	
8	アートアクセサリプロジェクト	2	個人のコレクションよりアクセサリデザイン	
9	アートアクセサリプロジェクト	2	デザインしたアクセサリのディスカッション	
10	アートアクセサリプロジェクト	4	アクセサリデザインのブラッシュアップ (アクセサリ販売の為に生産)	
11	MY コレクション研究 1	2	時代の空気感を読む	
12	MY コレクション研究 2	2	トレンド分析	
13	MY コレクション研究 3	2	トレンドよりインスピレーションアイデアの選定	
留意事項 (履修条件他)				
自分自身の発想に必要なアイデアをたくさんの事柄からセレクトしデザインへと落とし込み、コレクションとして様々なデザイン展開をする。				
教材				
最終到達目標	学習法	評価方法		
様々なアイデアを1つのデザインへミックスさせて自分自身の独自のデザインを生み出す。	リサーチの重要性を学び、デザインへ落とし込む。ドローイングを重ねて自らデザインできる力を自然に身につける。	A~E 評価 ※E は不認定となる 作品の提出を以て総合的に評価する 出席重視		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C215	コンテストドローイング	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
松本 けい子		演習		
講義目的				
自分のクリエイションを発信する基となるドローイングの表現方法を習得する。				
授業内容				
様々な技法に挑戦し、表現に幅を持たせる。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	コンテスト対策 リサーチ	2	各コンテストの傾向をリサーチし、対策を講じる	
2	コンテスト対策 プロポーション	2	デザインのイメージに合わせたボディの習得	
3	コンテスト対策 省略	2	自身のデザインを省略画で表現する	
4	コンテスト対策 デフォルメ	2	自身のデザインをデフォルメ画で表現する	
5	コンテスト対策 表現 ①	2	与えられたテーマをカラージュで表現する ①カラージュを基にドローイングで表現する ①	
6	コンテスト対策 表現 ②	2	与えられたテーマをカラージュで表現する ②カラージュを基にドローイングで表現する ②	
7	コンテスト対策 表現 ③	2	与えられたテーマをカラージュで表現する ③カラージュを基にドローイングで表現する ③	
8	コンテスト対策 構成 ①	2	写真プラスデッサンで構成する	
9	コンテスト対策 構成 ②	2	写真プラスドローイングで構成する	
10	コンテスト対策 構成 ③	2	写真プラスオリジナル表現で構成する	
11	コンテスト対策 応用 ①	2	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ①	
12	コンテスト対策 応用 ②	2	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ②	
13	コンテスト対策 応用 ③	2	今まで学んだ技法を用い、オリジナル画を完成させる ③	
14	クロッキー ①	2	実際のモデルを前にして描く	
15	クロッキー ②	2	時間短縮でスピーディーに描く練習をする	
留意事項（履修条件他）				
様々な物事に興味を持って五感をフル活用し、行動を起こす。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座4 ファッションデザイン画」（文化出版局）				
最終到達目標	学習法	評価方法		
コンテストに参加する。	様々な画材を使い、現力の向上を目指す。	提出課題を以て総合的に評価する		

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C215	コンテストドローイング	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
松本 けい子		演習		
講義目的				
自分のクリエイションを発信する基となるドローイングの表現方法を習得する。				
授業内容				
様々な技法に挑戦し、オリジナル表現を完成させる。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	コンテスト対策 技法 ①	2	様々な画材を使って表現する	
2	コンテスト対策 技法 ②	2	様々な画材・素材を組み合わせる表現する	
3	コンテスト対策 技法 ③	2	切り画の技法を用いて表現する	
4	コンテスト対策 技法 ④	2	ドローイングに切り画を組み入れて表現する	
5	コンテスト対策 技法 ⑤	2	① ④の技法を用いて独自のものを表現する	
6	クロッキー ①	2	実際のモデルを前にして描く ①	
7	コンテスト対策 完成 ①	2	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ①	
8	コンテスト対策 完成 ②	2	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ②	
9	コンテスト対策 完成 ③	2	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ③	
10	コンテスト対策 完成 ④	2	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ④	
11	コンテスト対策 完成 ⑤	2	各コンテストをリサーチし、オリジナル表現を完成 ⑤	
12	コンテスト対策 応用 ①	2	自身のデザインを基に、イメージ描写 ① リアルクローズ表現への落とし込み ①	
13	コンテスト対策 応用 ②	2	自身のデザインを基に、イメージ描写 ② リアルクローズ表現への落とし込み ②	
14	クロッキー ②	2	実際のモデルを前にして描く ②	
15	コンテストドローイングのまとめ	2	オリジナル描写を完成させる	
留意事項（履修条件他）				
興味のあることには積極的に挑戦すること。また、美術館や博物館を訪れ、芸術に触れることも大切。				
教材				
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座4 ファッションデザイン画」（文化出版局）				
最終到達目標		学習法	評価方法	
洞察力や想像力を基にドローイング技術が向上する。		様々なイラストレーターの作品に触れる。様々な画材を使ってみる。	提出課題を以て総合的に評価する	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C216	パターンプロダクト演習 I	2年/前期	6	必修
担当教員		科目区分		
加藤 弘子		演習		
講義目的				
重衣料についての製図理論と服飾造形の基礎知識を学び、独創的なデザインをパターンで表現する力を身に付ける。				
授業内容				
ジャケットの基礎パターンや工業用パターンなど製作までの過程を学ぶ。 各アイテムの基礎と応用を実践し、独創的なデザインをパターンで表現する。				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	ジャケット	2	ジャケットの基本製図法	
2	ジャケット	2	2面体ジャケット製図法	
3	ジャケット	4	4面体ジャケット製図法	
4	ジャケット	6	工業用パターン製図法	
5	ジャケット	4	3面体ジャケット製図法	
6	ジャケット	4	プリンセスラインジャケット製図法	
7	ジャケット	4	ラグランジャケット製図法	
8	デザイン①	2	ディテール研究	
9	デザイン①	10	ファーストパターン製作	
10	デザイン①	12	トワールチェック・工業用パターン製作	
11	デザイン②	12	ファーストパターン製作	
12	デザイン②	12	トワールチェック・工業用パターン製作	
13	フード	2	フードの原理と基本製図法	
14	ジャケット	4	バトルジャケット製図法	
15	コート	10	コート工業用製図法	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「パターンメイキング」（大阪文化服装学院） 大阪文化服装学院編「工業用パターン」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法		評価方法	
重衣料（ジャケット・コート）の基本製図を習得し、多種多様なデザインに対応できる応用力を身に付ける。	講義 課題作成		提出課題を総合的に評価する	

講座コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C216	パターンプロダクト演習 I	2年/後期	6	必修
担当教員		科目区分		
加藤 弘子		演習		
講義目的				
重衣料についての製図理論と服飾造形の基礎知識を学び、独創的なデザインをパターンで表現する力を身に付ける。				
授業内容				
コートの基礎パターンや工業用パターンなど製作までの過程を学ぶ。 各アイテムの基礎と応用を実践し、独創的なデザインをパターンで表現する				
授業計画及び学習課題				
項目	内容	回数	学習課題	
1	スタイリング①	6	ディテール研究	
2	スタイリング①	8	シルエット研究	
3	スタイリング①	12	ファーストパターン製作	
4	スタイリング①	2	トワールチェック	
5	スタイリング①	2	トワールチェック	
6	スタイリング①	10	工業用パターン製作	
7	スタイリング②	6	ディテール研究	
8	スタイリング②	6	シルエット研究	
9	スタイリング②	10	ファーストパターン製作	
10	スタイリング②	2	トワールチェック	
11	スタイリング②	2	トワールチェック	
12	スタイリング②	10	工業用パターン製作	
13	コート原型	2	コートの基本製図法	
14	コート	4	ラグランコート製図法	
15	コート	8	トレンチコート製図法	
留意事項（履修条件他）				
教材				
大阪文化服装学院編「パターンメイキング」（大阪文化服装学院） 大阪文化服装学院編「工業用パターン」（大阪文化服装学院）				
最終到達目標	学習法		評価方法	
重衣料（ジャケット・コート）の基本製図を習得し、多種多様なデザインに対応できる応用力を身に付ける。	講義 課題作成		提出課題を総合的に評価する	

授業コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C217	グラフィックデザイン	2年/前期	2	必修
担当教員		科目区分		
斉藤 佳孝		演習		
講義目的				
<p>アパレル業界において広く利用されている、コンピューターによるデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルは必須である。業界標準的に使われている「Adobe イラストレーター、フォトショップ」操作の基本と活用方法を学び、スキル向上をはかる。</p>				
授業内容				
<p>Adobe イラストレーター、フォトショップを使用し、ファッションに関連した教材を使って、段階的に操作方法を身に付け、アパレル業界で行われる各種作業に対応する活用力を身に付ける。</p>				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	フォトショップ基本操作 写真素材切り取り	画像から不要な部分の削除の方法説明と練習		
2	コラージュによるファッションマップ作成	レイヤーを使って素材データを組み合わせる		
3	コラージュによるファッションマップ作成	画面レイアウトのポイント		
4	コラージュによるファッションマップ作成	フォントの効果的な使い方		
5	スタイル画の着色	着色・補正・シャドウハイライトの作り方		
6	スタイル画の着色	生地をスタイル画へ埋め込む方法		
7	スタイル画の着色	各自が描いたスタイル画の着色		
8	スタイル画をマップにまとめる	スタイル画のイメージに合うマップ作成		
9	コレクションポートフォリオ	マイコレクションのポートフォリオをDTPで作成する		
10	コレクションポートフォリオ	絵コンテ作成 デザインフォーマットの作成		
11	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
12	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
13	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
14	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
15	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
16	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
17	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
18	コレクションポートフォリオ	ポートフォリオ作成		
19	コレクションポートフォリオ	作成した作品を振り返っての考察		
20	コレクションポートフォリオ	作成した作品を振り返っての考察		
21	イラストレーター基本操作	イラストレーターとは 画面表示		
22	アイコンの作成	図形同士を型抜きや合成などに活用する		
23	アイコンの作成	ヒトの行動やモノを表すマークを作る		
24	ペンツールの使い方	アンカーとパスの理解		
25	ペンツールの使い方 トレース練習	ブランドロゴのトレースをする		
26	ペンツールの使い方 トレース練習	ブランドロゴのトレースをする		
27	ペンツールの使い方 トレース練習	ハンガーイラストを作成する方法		
28	ペンツールの使い方 トレース練習	ハンガーイラストを作成する方法		
29	ペンツールの使い方 トレース練習	ハンガーイラストを作成する方法		
30	イラストレータを使った表作成	作成したハンバーイラストを表にまとめる		
留意事項（履修条件他）				

興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席(公欠の場合も)等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。

教材		
最終到達目標	学習法	評価方法
Adobe イラストレーター、フォトショップを操作して、スタイル画の着色、ハンガーイラストの作成ができ、カラー、素材の違いなども効率よく表現できる。	Apple コンピューターを使用した実技	定期課題(50%) 小課題(50%) ※課題内容、提出等については授業内で説明

授業コード	授業科目名	配当学年/学期	単位数	選択・必修
C217	グラフィックデザイン	2年/後期	2	必修
担当教員		科目区分		
斉藤 佳孝		演習		
講義目的				
<p>アパレル業界において広く利用されている、コンピューターによるデザインやプレゼンテーション資料作成のスキルは必須である。業界標準的に使われている「Adobe イラストレーター、フォトショップ」操作の基本と活用方法を学び、スキル向上をはかる。</p>				
授業内容				
<p>Adobe イラストレーター、フォトショップを使用し、ファッションに関連した教材を使って、段階的に操作方法を身に付け、アパレル業界で行われる各種作業に対応する活用力を身に付ける。学外で作品展示販売を行うことを想定し、アパレルブランドに必要なプロモーショングッズの基本的な知識と作成方法を学ぶ。</p>				
授業計画及び学習課題				
回	内容	学習課題		
1	プロモーショングッズについて	アパレルブランドのプロモーショングッズ研究		
2	プロモーショングッズについて	アパレルブランドのプロモーショングッズ研究		
3	プロモーショングッズについて	研究したものをイラストレーターにまとめる		
4	プロモーショングッズについて	研究したものをイラストレーターにまとめる		
5	ブランドマップ作成	展示販売するブランドコンセプト・ターゲットをまとめる		
6	ブランドマップ作成	展示販売するブランドコンセプト・ターゲットをまとめる		
7	プロモーショングッズ作成	ブランドロゴ作成		
8	プロモーショングッズ作成	ブランドロゴ作成		
9	プロモーショングッズ作成	キービジュアルの作成		
10	プロモーショングッズ作成	キービジュアルの作成		
11	プロモーショングッズ作成	DM 作成		
12	プロモーショングッズ作成	DM 作成		
13	プロモーショングッズ作成	名刺作成		
14	プロモーショングッズ作成	名刺作成		
15	プロモーショングッズ作成	インビテーション作成		
16	プロモーショングッズ作成	インビテーション作成		

17	プロモーショングッズ作成	タグ作成
18	プロモーショングッズ作成	タグ作成
19	プロモーショングッズ作成	ネットプリントについての説明
20	プロモーショングッズ作成	入稿用データについての説明
21	プロモーショングッズ作成	ネットプリントに入稿できるDM・名刺データの作成
22	プロモーショングッズ作成	ネットプリントに入稿できるDM・名刺データの作成
23	プロモーショングッズ作成	ホームページについての説明
24	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成
25	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成
26	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成
27	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成
28	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成
29	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成
30	プロモーショングッズ作成	簡易ホームページ作成
留意事項（履修条件他）		
興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席（公欠の場合も）等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。		
教材		
最終到達目標	学習法	評価方法
Adobe イラストレーター、フォトショップを操作して、アパレルブランドに必要なプロモーショングッズを作成することができるようになる。	Apple コンピューターを使用した実技	定期課題(50%) 小課題(50%) ※課題内容、提出等については授業内で説明